



No. **173**

令和3年1月31日号

信濃町議会だより



太古のロマンを求めて

第417回定例会 10～12月会議

新年を迎えて・418回定例会	2ページ	政策提言・特別委員会報告	12ページ
10～12月会議概要.....	3～5ページ	ぎかい活動365日.....	13ページ
一般質問.....	6～9ページ	わたしの出番 三館企画/ナウマンソウ博物館	14ページ
第417回定例会を振り返って	10～11ページ		

発行/信濃町議会 発行責任者/森山木の実
編集/議会広報調査特別委員会

〒389-1392 長野県上水内郡信濃町柏原428-2

TEL(026)255-2212

17代議会として最後の第418回定例会が開会

83日間の定例会が開会



新年のご挨拶
信濃町議会議長 森山 木の实

新年おめでとうございます。
町民の皆さまには、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。コロナ禍のため帰省できないお子さんやお孫さんもおられると思いますが、距離は遠くてもお互いを思いやりながらお正月を過ごされたこと存じます。

昨年からのコロナ禍で、地方議会の中には一般質問の時間を短縮したり取りやめたりするところもありましたが、当議会は感染防止対策をとった上でこれまでどおりに一般質問に臨み、町政の課題等を質すことができました。対策に協力して下さった関係者の皆さまに感謝いたします。

また、議会運営委員会に諮問した「議会の災害対応マニュアルの制定」「傍聴規則の改正」にも着手の予定です。

特に傍聴規則については、面倒な手続きや時代に合わない規定などを改正し、開かれた議会としてどなたでもが気負うことなく傍聴できるようにしたいと思います。

さて今年には町議会議員の選挙が行なわれます。皆さまの投票権を、現世代はもちろん未来の世代のためにも活かしていただけますようお願いいたします。結びに、この1年が皆さまにとって希望に満ちた年でありますようお願いしつつ、年頭のご挨拶といたします。

第418回定例会が開会

第418回信濃町議会定例会が、1月8日に召集されました。

今定例会は、3月末をもって第17代議会議員の任期が満了することから、3月31日までの83日間の会期となります。



招集のおいさつをする横川町長

そのため、3月に議会議員選挙が行なわれることから、令和3年度の各会計予算については、議会での審議が1か月前倒しで、「2月第2回会議」として新年度予算の審議が行なわれる予定です。

議会のコロナ対策

議会では、マスク着用などのほか、演台と発言席にも飛沫防止のために、アクリル板を設置しています。



条例制定 町議会議員選挙・町長選挙の ポスター、選挙カー等の公費負担の導入へ

第417回定例会10月〜12月会議

10月会議が10月2日に、11月会議が11月25日に、そして12月会議が12月2日から17日までの16日間の日程で、それぞれ開催されました。

10月会議では一般会計と病院事業会計の補正予算案審議を中心に、また、12月会議では町長と町議の選挙を公費負担とする条例制定案を中心に、3回の会議を通じて条例制定案1件、条例改正案6件、各会計補正予算案14件、人事案件1件など、町長提出案件24件が審議され全て可決・同意されました。ほかに陳情案件3件と議員発議4件が審議されました。

なお、12月会議に行なわれた一般質問は、8名が質問に立ち町政を質しました。

選挙は公費負担で

条例制定

信濃町議会議員及び信濃町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

されない限り、町が各業者に経費を支払う、公費負担制度の条例です。

Q 契約の見積書は、提出する必要があるですか。

A 見積書は不要。契約書の提出が必要です。公費負担と自己負担がある場合は、内訳書を提出します。

供託金制度

公職選挙法改正により、供託金は15万円となりました。

供託物没収点
(町議会議員選挙の場合)
有効投票数÷議員定数(12)×1/10

Q 供託金は、条例中に規定はないのですか。

A 公職選挙法に規定されています。

Q なぜ公費負担の制度ができたのでしょうか。

A 議員のなり手不足がある中で、全国町村議会議員会や全国町村会の要望により、公職選挙法が改正されました。

賛成討論

伊藤 博美 議員

この条例は公職選挙法の一部を改正する法律案に基づいて町条例の制定を行なうものであります。条例による選挙公営

公費負担の限度額〈町議会議員選挙の場合〉

- 自動車 選挙運動用として使用した自動車は1台に限る。
 - 借上げ ハイヤー・タクシー 64,500円/日×5日=322,500円 (燃料・運転手代込み)
 - レンタル 個人・会社 15,800円/日×5日=79,000円
 - 燃料代 7,560円/日×5日=37,800円 (期間を通じた上限)
 - 運転手の雇用 12,500円/日×5日=62,500円

ビラ・ポスター 選挙運動用として作成したビラやポスター

- ビラ
 - 1枚単価の上限 7円51銭
 - 枚数上限 1,600枚
 - 7.51円×1,600枚=12,016円 (上限を超えたら自己負担)
- ポスター
 - 1枚単価の上限 1,323円
 - 枚数上限 94枚
 - 1,323円×94枚=124,362円 (上限を超えたら自己負担)

公営とセットで導入となった供託金を持ち込むことは新たなハードルを設けることになり、条例の制定により少しでも立候補環境の改善につながることを期待し賛成します。

10・11・12月会議で審議した補正予算

11月・12月会議は全会一致で可決

**10月会議
補正予算修正
動議を否決**

旧柏原小学校の跡地に、新病院を建設するための測量と旧校舎内のアスベスト調査費用800万円を減額することを求める補正予算修正動議を、3人の議員が提出しました。採決の結果、修正議案を否決しました。

**11月会議
期末手当の減額**

人事院は、国家公務員の期末手当（ボーナス）を0・05月削減することを勧告しました。

町長は報酬審議会（会長・加藤三男氏）に期末手当の削減について諮問し、同会は、国に準じた措置を可とする答申をしました。

**11月会議
給与削減可決**

削減額	
議長	△19,460円
議員	△12,600円
町長	△48,720円
副町長	△40,390円
教育長	△35,770円
職員	△15,800円（平均）

議会議員と町長など常勤の特別職・職員の12月分期末手当を人事院勧告に準じて減額する、議案と予算を議会は、全会一致で可決しました。削減額の総額は、450万円となりました。

**12月会議
選挙運動の公費化**

町議会議員の選挙運動の費用を立候補者1人

当たり33万円を町で負担するため、533万円補正することを可決しました。

インフルエンザ予防接種インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行に備えて、高齢者を対象にしたインフルエンザの予防接種補助金を1100人分、385万円増額補正しました。これで3600人分の予防接種が可能となりました。

北しなの線鉄道補助金

しなの鉄道北しなの線の点検整備613万円を増額補正しました。

県・市町・会社が、3分の1ずつ負担することになっていきます。市町分の負担金は、沿線市町の信濃町・長野市・飯綱町がそれぞれ出資金の割合で負担しています。信濃町の負担割合は2・9%です。



第417回定例会10月会議 議員・議案ごと賛否一覧表

○賛成 ●反対 / 病気・公務出張等により欠席・議決に不参加（議長は議決に参加しない（-））

議案番号	議案の内容(要約)	審議結果	議員													
			外谷孝司	片野良之	佐藤博一	伊藤博美	石川広之	永原和男	酒井聡	青柳秀吉	小林幸雄	湊喜一	佐藤武雄	森山木の実		
97	令和2年度信濃町一般会計補正予算（第9号）	可決	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	補正予算の修正動議について	否決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
98	令和2年度信濃町立病院事業会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	補正予算の修正動議について	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

* 10月会議・11月会議・12月会議の全会一致の28案件についてはホームページ又は議会事務局にお問い合わせ下さい。

信濃町議会

12月会議にて

3陳情、全会一致で採択

陳情

町商工業振興に関する陳情書

〈陳情者〉
信濃町商工会

会長 間瀬 一朗
（全員賛成で採択）

賛成討論

佐藤 武雄 議員

現在、商工会活動をとり巻く状況は、少子化・高齢化、コロナ禍などの影響に伴う事業者、会員の減少が続いております。この様な中、町内中小事業者への経営支援及び新規起業人材育成など商工会活動は多岐にわたっております。停滞気味にある商工、観光の観点から町として前向きに環境整備及び課題解決、安定的継続的な予算措置は商工会活動また地域経済の状況を鑑み、大変重要と考え賛成します。

賛成討論

佐藤 博一 議員

町内経済を支える最大の団体からの陳情書です。行政として関わり難い面をダイレクトに司る組織を対等のものと認識し、特に補助金については、コロナ禍で困窮している町内経済を救うためにも増額されることを期待します。

また、商業・工業・観光・青年・女性の各部会からの要望は、現場からの生の声です。町は、真摯に受け止め、要望が実現できるような前向きに捉え、スピード感をもって実行いただきたく賛成とするものです。

安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書

〈陳情者〉

地域医療と公立・公的病院を守る長野県連絡会
長野県保険協会
会長 宮沢 裕夫
ほか7名
（全員賛成で採択）

賛成討論

片野 良之 議員

この陳情は保険医療協会や医療機関連協会など八つの連合会や協議会から寄せられた協同の陳情です。コロナ禍で医療や介護の現場は、身体的にも精神的にも、経済的にも逼迫しています。一刻も早い国の対応を求めて賛成しようではありませんか。議員諸氏の賛成を願い、賛成の討論と致します。

国に対して「すべての医療機関・介護事業所への緊急財政支援を求める意見書」の提出を求める陳情

〈陳情者〉

長野地区社会保険推進協議会
会長 菅田 敏夫
（全員賛成で採択）

賛成討論

永原 和男 議員

この陳情は、国に対して医療機関・介護事業所への緊急財政支援を求める

議員発議



国土強靱化対策の推進を求める意見書

〈提出者〉

石川 広之
（全員賛成で可決）

人事

酒井 聡
（全員賛成で可決）

〈提出者〉
すべての医療機関・介護事業所への大幅な緊急財政支援を求める意見書

〈10月会議より〉
信濃町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて

大澤 三香子さん
（富濃・新任）
（同意）



選挙での感染予防策は

選挙管理委員長

「期日前投票を積極的に」

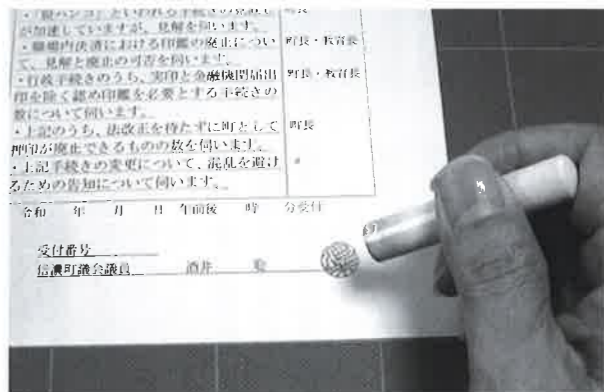


酒井 聡 議員

質問 新型コロナウイルスと、インフルエンザの同時流行が心配されます。

住民福祉課長 11月末の推計では、2200〜2

300人の方が接種を受けています。すでに前年度の人数を超えています。



脱ハンコの質問をするためにハンコを押しています

質問 ワクチンの備蓄量の状況はどうですか。

病院事務長 例年は延べ2400人前後をみていますが、今年は3000近い数を確保しています。

質問 スキー場での感染予防について、ガイドライン等はありませんか。

産業観光課長 11月に観光協会が感染症対策研修を行なっています。他に、対策応援事業を創設して、トイレの衛生強化やレストラン等の飛沫感染防止を行なっています。

質問 スキー場での感染予防について、ガイドライン等はありませんか。

産業観光課長 11月に観光協会が感染症対策研修を行なっています。他に、対策応援事業を創設して、トイレの衛生強化やレストラン等の飛沫感染防止を行なっています。

脱ハンコの取り組みは

質問 「脱ハンコ」という認印を省略する行政手続きの見直しですが、国主導が進められようとしています。

町長 11月頭の月例メツセージで、職員に対し今から準備をしてほしいとお願いをしたところ

質問 将来的に企業主導外保育事業を考えてみてはいかがでしょうか。

教育長 その事業についても承知しています。今後町内の企業にも働きかけていきたいと考えています。

然4園体制を継続することにしていて、現在保育士確保に向けて28の施策を展開しています。

質問 将来的に企業主導外保育事業を考えてみてはいかがでしょうか。

教育長 その事業についても承知しています。今後町内の企業にも働きかけていきたいと考えています。

※他に「新病院建設のアンケート」と今後の介護防止対策について「質しました。」

質問 保育士が足りなければ2園を休園にするという保護者への説明が「そのまま統廃合に向かうのでは」などの憶測を呼んでいます。

真意は、教育委員会として、保育士が確保できれば当

28の施策のひとつ「保育士募集」のチラシ



保育士募集

保育の質を向上させるには？

教育長「保育士が余裕を持てるように」



森山 木の実 議員

質問 新型コロナウイルスと、インフルエンザの同時流行が心配されます。

住民福祉課長 11月末の推計では、2200〜2

質問 ワクチンの備蓄量の状況はどうですか。

病院事務長 例年は延べ2400人前後をみていますが、今年は3000近い数を確保しています。

質問 スキー場での感染予防について、ガイドライン等はありませんか。

産業観光課長 11月に観光協会が感染症対策研修を行なっています。他に、対策応援事業を創設して、トイレの衛生強化やレストラン等の飛沫感染防止を行なっています。

質問 「脱ハンコ」という認印を省略する行政手続きの見直しですが、国主導が進められようとしています。

町長 11月頭の月例メツセージで、職員に対し今から準備をしてほしいとお願いをしたところ

質問 将来的に企業主導外保育事業を考えてみてはいかがでしょうか。

教育長 その事業についても承知しています。今後町内の企業にも働きかけていきたいと考えています。

※他に「新病院建設のアンケート」と今後の介護防止対策について「質しました。」

質問 保育士が足りなければ2園を休園にするという保護者への説明が「そのまま統廃合に向かうのでは」などの憶測を呼んでいます。

真意は、教育委員会として、保育士が確保できれば当

28の施策のひとつ「保育士募集」のチラシ

行政のデジタル化・オンライン化は

町長「様々の角度から検討し、所管に指示しています」



湊 喜一 議員

質問 押印の廃止対象の洗い出しをすべきでは。また議案等のペーパーレス化を進めるべきでは。

町長 公文書上の押印は本人確認が問題になる。メリット・デメリットを見極めた対応を各課に指示をしています。

ペーパーレス化は進んでいくと捉えています。

質問 行政手続きのオンライン化に、「マイナンバー・びったりサービス」があるが進んでいない。各課の活用及び取り組みは。

総務課長 災害支援で罹災証明の発行等を検討中です。

住民福祉課長 子育てワンストップサービスが進行中、介護ワンストップも検討中ですが、いずれもマイナンバーカードが必要で。

今マイナンバーカードの普及率は18・6%で、普及が重要だと、考えています。

教育次長 保育園利用申込書等がありますが、添付書類があり、難しい。

文化三館はキャッシュレス化を進めます。

税務会計課長 電子マネー、コンビニ決済を検討中です。事業者には、共通納税システム(エルタックス)が、立ち上がり今後の拡充に期待しています。

死亡時の手続きの一元化

質問 住民の死亡時の手続きは、数多く大変です。窓口一元化、またオンライン化は。

住民福祉課長 住民国保年金係でほぼ一元化しております。

介護保険料が

高く困る

町長「お答えのしようがありません」



永原 和男 議員

質問 介護保険料が高くて困るという声が寄せられている。町民の声をどのように受け止めますか。

町長 真意が測り知れませんが、何ともお答えのしようがありません。

質問 町民の声が町長の心に響いていない。町民の不満は、国政に向けられている。しかし、町政で知恵を出し合えば町民の期待にそえることができる。そこで何う。所得の低い方が、保険料負担が大きい。これは事

実としてよいか。住民福祉課長 負担割合・率という形になると所得が高い人の方が低くなっている。

質問 現在の9段階から段階を増やし、負担を軽減する考えは。

町長 負担率だけで、高い安いと判断する制度ではないと思います。

新病院について

質問 7月に作成した「新病院基本構想」と11月に議員に配布された「基本構想」の全文とは、重要な点で発展がある。それは、在宅医療を強く打ち出した点です。私は評価します。

町長 在宅医療の支援を、しっかりと行っていくことを打ち出した。

質問 介護療養病床を介

護医療院に転換することを再考いただきたい。

町長 介護医療院を建設する考えは持っていない。

保育士確保の見通しは

質問 必要な保育士さんは何人か。

教育長 6人です。

質問 応募締め切りを延長する考えは。

町長 提案については柔軟に対応し、何とか通常保育ができるように万全を尽くしてまいります。

所得に応じた保険料を設定することを提案しました。信濃町は現在、9段階に分けて介護保険料を設定しています。議会も多段階制を政策提言しています。近隣の町村の設定は次のとおりです。坂城町 11段階 飯綱町 10段階 小布施町 10段階 高山村 10段階

社会的に弱い人に影響のない予算編成を 町長「持続可能な町づくりを行ないます」



伊藤 博美 議員

質問 町民はできる限りの自助感染予防を行なっています。レベル4の警報に対する施策を求めます。

町長 3密対策、新しい生活様式を再度確認し、

行政は情報の提供と啓発活動に努めます。

質問 感染リスクが高い施設などへの対策はどう行なっていますか。

住民福祉課長 県と協力し12月中に対象の3施設について実施します。地域密着型の施設については、町が主体で指導を行ないます。

ワンストップサービスが進行中、介護ワンストップも検討中ですが、いずれもマイナンバーカードが必要です。

農福連携

質問 新しい事業である農福連携推進事業の取り組みはどうでしたか。

産業観光課長 町内のNPO法人様、担い手農家様、県のコーディネーター様のご協力で、延べ30人程の参加で実施しました。来年度も進めたいと考えています。



コロナ禍の中の自助感染予防

予算編成

質問 いつの時にもしわ寄せは高齢者、子ども達、障がい者等社会的に弱い立場にいる人達が一番影響を受けます。予算編成をどう考えていますか。

町長 やらなければいけない分野を見極めながら持続可能な町づくりを行ないます。

事業継続に関わる

支援策は

町長 「必要な部分の対策を講じていきたい」



片野 良之 議員

質問 町独自で可能な税制的側面での優遇策や救済策は改めて検討されているのか伺います。

町長 令和2年度においても、固定資産税等については一定の猶予と、翌年度において猶予期間が定められております。また、令和3年度に向けては、一定の条件の中で固定資産税の軽減制度を国が行なうので、町も軽減制度を取り入れていく。

税務会計課長 過日、一般会計の補正予算でも、固定資産税の部分につき

まして、約1400万円減額させていただきました。固定資産税、住民税等々につきましては町の大切な財源ですので、確実に徴収できる部分については徴収させていただいて、それをまた町民の方々に確実に使えるような方向で考えていくのも税務課の使命だと考えております。

質問 事業継続に関わる支援策など、今後、どのような方向で考えていくのか。

町長 町内の産業経済その基盤となる経営の継続を支援して応援と言う形も含めて、状況を見つつ、国県の対応を見つつ、バランスの取れた信濃町としての必要な部分の対策を講じていきたい。

質問 困窮している事業者に対する即効性のある



町が支援するキャンペーン (町HPより)

支援策は。

町長 信濃町は大きな産業の柱として観光という分野があります。宿泊関係の支援として、割引のクーポン券の発行について慎重に見極めながら対応していきたい。

指定管理者の役員 会員名簿の人数は

産業観光課長「役員3名
会員23名です」



佐藤 武雄 議員

質問 指定管理者の一般社団法人信濃町スポーツ企画サービスの役員、会員の人数を伺います。

産業観光課長 役員は3名、会員は23名です。

質問 指定申請書には役員承継となっていていますが、虚偽申請ではないですか。

総務課長 審査会の時点では承継する予定という話は聞きました。けれど町としてはその部分は審査の対象にはしていない形で審査をし、謄本に載っている役員が確実に

会員23名です

なっているものを確認して審査をしておりますので、その部分での虚偽があったという判断はしなかつた。

質問 事業譲渡して合宿誘致部門も申請書にはあります。NPO法人からの合宿誘致、イベントもやります。その数値で向こう3年間の収支報告、事業計画が出ています。やらないとすると、虚偽ではないですか。

総務課長 事業譲渡の契約は事業及び財産の譲渡と従業員の引継ぎがうたわれていきます。

役員、会員については口頭で説明はありました。けれど事業譲渡契約としては、役員について引継ぎとなっております。ただ委員会の審査の中で産業観光課長が誤つ

て、監事、会員についても引き継ぐという様な話をしましたが、その部分は誤った回答をしました。

質問 行政は法的に全て行っています。間違いは正さなくては、駄目でしょう。

指定の撤回と取り直し

	法律の根拠	意義	要件	例
撤回	要 (自治法244条の2 XI) 条文上は「取り消し」	後発的な事情による法律関係の解消	・重大な指示違反 ・管理を継続することが適当でない事情の発生	・重大な法令違反 ・極めて不適切な管理状態の発生
取消	不要 (指定権限に内在)	原始的な瑕疵の発見による法律関係の解消	指定の前提条件の不存在の発覚	虚偽の内容による指定の申出(申請)

町長の発信・広報に 町長ページを

町長「提案は考えてみたい」



佐藤 博一 議員

質問 1期目と2期目も2年経過し、公約の進捗度合い等、自己総括は。町長 進捗度合いは表現が難しいが、結果をもって評価に値すると思うところです。人口減少問題は、現在社会動態面では

プラスです。広い行政面積の町において集落的支援事業も行ないました。

質問 病院建設に賛成の立場ですが、開設者としての町長から今一度、姿勢をお話し下さい。

町長 私の最大の公約が病院建設だと意識して今まで進めてきました。設備の老朽化があり、時代に即した医療の提供を総合的に国県とも協議して進めている状況です。介護については、地域の中で安心して暮らせる体制作りが課題です。

質問 観光と農業の町ですが、農産物と共に信濃町をどのように全国に発信していきますか。

町長 農業従事者の皆さんの気持ちや、将来の農業のあり方を考え、あう機会も必要で、営業マンのやる気は持つています。

質問 コロナ禍での住民に寄り添えない今、町長の情報収集が気になります。発信面では毎月広報に町長のページを設けてはいかがですか。

町長 住民の皆さんにお会いできないのは寂しい限り、要請等は文書です。広報の提案は考えてみたいと思います。

質問 財政の厳しい中では、まさに隗より始めようではありませんが、町長自身が先頭に立って行なっていますか。



発信として最大限活用を

第417回定例会を振り返って

第417回定例会が閉会

12月会議の最終日12月17日をもって、344日間の会議期間で開催された第417回信濃町議会が閉会しました。今定例会期間中は、町長提案議案等120件のほか、請願6件、陳情9件が審議されました。



森山木の実 議員

コロナ禍のなか、前例のないことで判断に迷った時には、議員必携にある「勇気と奮起」、事務局職員からの「毅然として事に当たれ」という言葉を思い出していました。今年も勇気と共に進みたいと思います。



佐藤 武雄 議員

コロナ禍の中で、新しい生活様式と向き合う時、パソコンは議員の必須アイテムだと主張してきた者にとって、オンライン会議、資料収集、情報交換、自らのスキルが、大いに役に立った年でありました。



湊 喜一 議員

原点に帰すれば議員は、行政側の施策、予算執行などに対して監視、抑制し町民の負託に応えるべく日々努力し行動します。行政



小林 幸雄 議員

コロナの影響で多くの行事や会合が中止となり、我々の生活も大きく変わろうとしている。なんととしても人類の英知を結集してこの

社会文教常任委員会

1月に、石川県の病院施設2か所への所管事務調査を行なって以降、町外への視察は自粛中です。8月は、小中学校のこ

コロナ感染症予防対策について視察を行いました。先進地視察が自由に行なえる日常に戻ってほしいと心から願う会期末です。



青柳 秀吉 議員

議員になってから一貫して医療、特に病院建設を含めて地域医療の崩壊を防ぐため、病院問題に取り組んで参りました。

2020年度になりようやく住民の命と健康を守る病院の青写真が出来ました。まだ完成まで5年かかります。頑張りましょう！



補正予算、所管部分について、町会議員、町長の選挙費用の町負担の条例についても審査しました。

総務産業常任委員会

今年は、やすらぎの森多目的広場の充実をテーマとして、所管調査をし町へ政策提言をしました。また、コロナ関係での

に対し応援者の議員もいますが、議会の現状はバランス的にベストの状況にあると思います。



酒井 聡 議員

昨年は、コロナ対策の一般質問を3回行なう等新型コロナウイルスに振り回された1年でした。成人式や各団体の総会等が軒並み中止、学校や保育園の行事も規模が縮小され、「失われた1年」を実感した年でした。



永原 和男 議員

1月から12月の間に、13回の議会がありました。コロナ禍において通年議会が、果たした役割は大きなものがありました。また、町民のみならずの代弁者としての責任の重さを再認識した1年でした。



石川 広之 議員

みなさんの声を議会に届けて、その実現をめざしたいと活動してきました。今、自己責任を押し付ける政治が行なわれています。こんな時だからこそ、みなさんの声を議会に届ける仕事を頑張らなければと思っています。

議会運営委員会

コロナ禍での議会運営に心がけて来ました。他議会では、一般質問の自粛が取りざたされました。

信濃町議会は、感染防止を徹底



して多くの議員が、一般質問に立ち町政を質してきました。どうぞ、議会傍聴にお出かけください。



伊藤 博美 議員

町立信越病院建設等調査特別委員会

9月会議で立ち上げが決まった特別委員会でしたが、委員の皆様

さんの協力のもと、身の濃い調査と協議ができました。地域に愛される病院ができることを心から願います。



佐藤 博一 議員

昨年は、コロナ感染症が全国的に広がり、国、町でも対応策がとられました。議会でも例年の地域活動がほぼ無くなり、議員としての活動の機会をなくしました。私も、対策をし最大限の活動ができたと思います。

地球規模での環境変動やコロナ禍に翻弄された1年でありましたが、大きな時代の変革期と据え、住民の皆様

に資する行政となるよう議会の立場での発言、判断をして参りました。我々議会も変わる時が来ています。



片野 良之 議員

議会広報調査特別委員会

世界を混乱の極みに陥れたコロナウイルスは、未だに謎で未知の状況です。当編集委員は習熟度が高くスピーディーに作業がこなせた。コロナ禍での感染回避でリモートワークを実施しました。副委員長にはサ



ポートしていただき委員共々感謝したい。

今期の議会は、コロナに終始した1年でした。

みなさんの願いや要望を議会や行政に届け、実現をめざす活動を心がけて来ました。残任期間もあとわずかです。ラストスパート。全力で取り組みます。



外谷 孝司 議員

政策提言を提出

今年度も、議会から町に対する政策提言がまとめられました。

コロナ禍における県外先進地視察の自粛の中、各常任委員会での調査・研究を基にまとめられた提言書は、定例会終了後の12月17日に手交が行なわれました。今年度の提言事項は下記の2項目でした。



1. 矢保利の館およびやすらぎの森多目的広場の充実について

- (1) キャンプ場及びオートキャンプ場の充実を図ることと、水回り（トイレ、排水等）の充実と電源の確保。
- (2) 国道から施設への出入り口の安全を確保すること。

2. 介護保険料の多段階化について

これからの介護保険料のあり方として、より現状の所得に対して平等な負担の保険料とし第9段階以上にはいわゆる「現役世代並み所得」の概念に則った保険料設定を行ない、現行の「9段階」設定からより細分化された「多段階」設定の導入と低所得者層との傾斜配分を行なわれるよう求めます。

町立信越病院建設等調査特別委員会報告

町立信越病院建設等調査特別委員会は、9月23日から12月14日まで全8回の委員会を開催し、新信越病院の建設計画に関して付託された案件の調査・協議を行なってきました。議会定例会の最終日に当たる12月17日に、本会議において委員会から調査報告が行なわれました。本誌では、委員会報告の要約を掲載します。

委員会の日程と内容

- 【第1回】 9月23日(水) 「委員会の設置目的の確認」
- 【第2回】 9月29日(火) 「基本構想についての説明と質疑」
- 【第3回】 10月9日(金) 「介護医療院は開設しないと決定するに至った経過」
- 【第4回】 10月20日(火) 「病院建設を踏まえた財政シミュレーションについて」
- 【第5回】 11月10日(火) 「介護医療院は開設しないと決定するに至った経過に関する調査結果のとりまとめ」
- 【第6回】 11月19日(木) 「財政シミュレーションに関する調査結果のとりまとめ」
- 【第7回】 11月26日(木) 「基本構想策定を中心に対象的な部分についての検証作業と調査内容の取りまとめ」
- 【第8回】 12月14日(月) 「委員会報告について」

調査対象とした事項

- 基本構想の内容についての調査と検証
- 基本構想策定に至る経緯についての検証
- 介護医療院を開設しないこととした理由に関する調査
- 全体的な財政シミュレーションについて
- 介護医療院の開設について再考を求める。また運営に対する財政支援を国に求めることなどの行動も併せて求める。
- それでもなお、介護医療院の開設が不可能であるときの受け皿をどうするのかについて、具体策の提示を示されたい。
- 経営については「公営企業法の全部適用」を検討して頂きたい。
- 各種健診や人間ドックなど予防医療の充実について、住民福祉課とも連携し、基本理念に示された「地域の健康と暮らしを支え、身近で信頼され愛される病院」を実現して頂きたい。
- 新病院開院までの4年間で在宅療養支援病院としての体制づくり、特に在宅医療に熱心な医師・看護師の確保に努めること。
- 現在活用されていない基金等、いわゆる塩漬けになっている資金の活用など、充当財源の研究を求める。
- 現施設の解体も含めた公共施設の整理統合など、全体にわたる行財政改革にも取り組むよう望む。

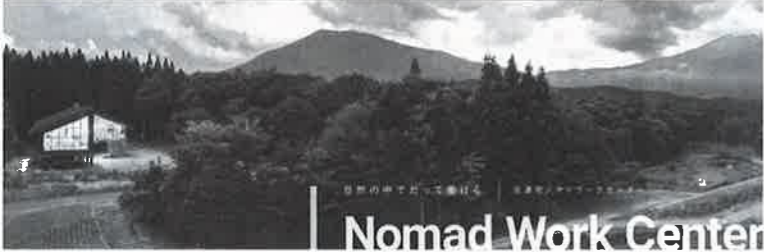
調査結果の考察

調査結果をとりまとめる中で、新病院の方向性として、「在宅療養支援病院」を明示した点は評価し、併せて病院施設の重要性を再確認し、建設の計画は適切なものであると判断しましたが、左記の7項目についての「意見」が付されました。

Update

ぎかい活動365日

— 10月から12月までの主なもの —



10/2

調査

総務産業常任委員会

10月2日、同委員会は、指定管理先の「ノマドワークセンター」への所管事務調査・視察を行いました。委員全員出席、担当の総務課も出席し、管理を行なうネイチャーサービス様からの説明を受けました。

11/16

特別豪雪地帯県要望

信濃町をはじめ北信の10市町村の協議会は、11月16日県知事への要望及び県議会への陳情を行いました。当議会は佐藤副議長が出席しました。



12/19

スキー場開き安全祈願祭

12月19日、タングラム斑尾にて、冬季スキー場の無事を祈り、安全祈願祭が行なわれ、議長、副議長が出席しました。

12/21

斑尾開発推進三者懇談会

12月21日、タングラム斑尾にて行なわれた三者（町・古海区・タングラム）懇談会に、議長・副議長が出席しました。

表紙の写真

太古のロマンを求めて六月地区で活断層が発見されました。野尻湖が出来た理由の解明につながる大発見で、研究者の皆さんの胸を躍らせています。

編集後記

「鬼は外、福は内」
昨年は、いろいろな鬼が世間を賑わせました。コロナ鬼が減するよう、
「全集中」の対策をしたいものです。
(酒)



皆さまのご意見・ご感想をお待ちしております。また、お気軽に議会傍聴もお願い致します。送り先：信濃町柏原 428-2 FAX 255-2212

— 議会広報調査特別委員会 —

- 委員長・佐藤武雄 副委員長・酒井 聡
- 委員・永原和男・片野良之
- ・外谷孝司・佐藤博一

こんにちは

でばん わたしの出番です

コロナが収束する春が待ち遠しい…柏原・寺島常子さんと
両親と仲良く働きたい…仁ノ倉・中村聡さんです。



コロナ禍で
柏原 寺島 常子さん

気がつけば高齢者世帯に数えられる歳になりました。

私は信濃町で生まれ、信濃町で育ち、結婚・子育てを経て今に至ります。残りの人生も町の方と更に絆を深めて生きていきたいと思っています

ます。

新型コロナウイルス感

染症という予期せぬ事態にみまわれ、世界で9000万人もの感染者が出るなど日々恐ろしさを感じて暮らしています。病院では感染防止策として入院患者さんの家族との面会を禁止しています。病気に加え家族と会う事



いつもの席
仁ノ倉 中村 聡さん

「なんか懐かしいね。昔はよくこうやって現場に行ったね。」

数年前、建築会社の展示場にジャングルジムと滑り台を納品した時、久々に母にも現場に同行してもらい、1トトラツ

クに私が運転、父が助手席母が真ん中の席に乗り高速道路で現場に向かう道中の会話です。

20年前は、一軒あたりの建具の数が多かったので1トトラツクでいつもの席に三人並んで現場に行っていました。休みもなく、朝から晩まで両親

ができない患者さんの不安な気持ち、また心配されている御家族の気持ちはいか程かと思っています。

一日も早く収束して安心して暮らせる日を強く願っています。そして感染の心配をしないで飲んだり食べたり、お喋りがしたいですね。子ども達、孫達とも会いたいです。今はジジ・ババ二人で静かに暮らしています。今年は特に春が待ち遠しいです。

といっしょで嫌でしょうがなかつたけど、久し振りに乗ってみるとみんなよくやってたと感慨深いものがありました。

今は、一軒あたりの本数が少なく一人で現場に行く事が多くなりましたが、まだまだ現役で頑張ってくれている両親と、仲良くもう少しいっしょに仕事ができればと思っています。

三館企画

「野尻湖の生い立ちを
解明する地層の壁が出現」
—信濃町六月地区—

令和元年、六月地区の橋の工事に伴い道路を拡幅していたときに、山沿いにもごとな縞模様の地層が出現しました。よく調べると野尻湖を造ったと考えられていた泥流堆積物の上に、およそ7年前からの火山灰層が順序良く堆積していることがわかりました。野尻湖はこの泥流堆積物で川がせき止められて出来た、と考えられていましたが、その決定的証拠は見つかっていませんでした。この壁は正にその証拠を示しています。驚いたことに、この地層はある面を境に大きく食い違っており、地殻変動によって地層が変形していました。この食い違った面を断層と言います。この変動がいつどのようなように起こったのか。今後の研究で野尻湖の生い立ちが、今以上に詳しく分かってくると思います。その研究成果は信濃町の防災に大変役立つことが期待されます。この場所は地層の学習に活用できるよう野尻湖ナウマンゾウ博物館の野外展示施設として保存していく予定です。



野尻湖ナウマンゾウ博物館 近藤洋一